

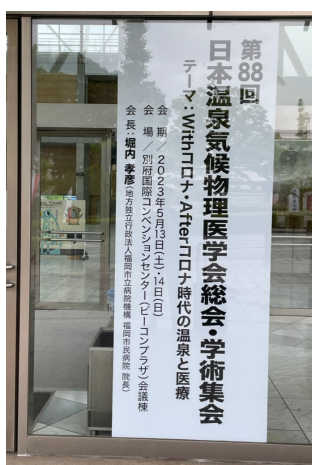


2023年秋春号

欧州ラドン温泉療法研究会 第88回日本温泉気候物理医学会定例総会

2023年5月13～14日

「第88回日本温泉気候物理医学会定例総会」
に参加して来ました



会場「大分・別府ビーコンプラザ 別府国際コンベンションセンター」

5月13～14日の日程で、日本温泉気候物理医学会の第88回定例総会が大分県別府市で開催されました。学会理事会より欧州でのラドン温泉療法の近況を報告して欲しいとの依頼を受けての参加でした。発表は学術委員によって発表される特別報告会の中で執り行われ、3年ぶりの対面の開催でもあり、多くの方との新たな親交を築くことができました(別紙にて学会抄録用に投稿した要約内容を添付)。

発表は、旧岡山大学三朝温泉病院の院長であった光延先生を座長に進められました。先生からは、「この様な事がもっと早く知ることができたのなら、三朝病院の在り方も違った事でしょう。」との言葉も頂きましたが、日本での温泉活用には課題が多い事も知りました。とは言え、三朝病院を直接運営されていた光延先生ですので、生体の放射線影響には様々な経験と知識を備えていらっしゃいました。当研究会の活動にもご理解頂く機会となり、今後の活動にもご協力頂ける運びとなった事は大きな収穫と言えます。



当日の参加者は認定温泉療法医を中心に、膠原病やリウマチ専門医、鍼灸師、理学療法士の方などで、事務局報告で450名前後との事でした。また、実際の発表内容から、日本の温泉療法が持つ価値を損なわない為、査読の基準を下げない努力を感じました。しかし、放射能泉に関する報告は当研究会を含め、メタ解析の発表以外は見られず残念でした。しかし、ここにこそ当研究会の存在意義が有ると考えています。

今回の学会参加に賛助頂きました方のパンフレット等、各200部は希望者向けにはほぼ配布してしまいました。特にリウマチ専門医や鍼灸師の関心が高かった印象です。ご協力感謝いたします。